

令和4年予算決算委員会会議録

1. 招集年月日 令和4年3月17日
2. 招集の場所 可児市役所議場
3. 開 会 令和4年3月17日 午前9時01分 委員長宣告

4. 審査事項

審査事件名

- 議案第1号 令和4年度可児市一般会計予算について
- 議案第2号 令和4年度可児市国民健康保険事業特別会計予算について
- 議案第3号 令和4年度可児市後期高齢者医療特別会計予算について
- 議案第4号 令和4年度可児市介護保険特別会計予算について
- 議案第5号 令和4年度可児市自家用工業用水道事業特別会計予算について
- 議案第6号 令和4年度可児市農業集落排水事業特別会計予算について
- 議案第7号 令和4年度可児市可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計
予算について
- 議案第8号 令和4年度可児市土田財産区特別会計予算について
- 議案第9号 令和4年度可児市北姫財産区特別会計予算について
- 議案第10号 令和4年度可児市平牧財産区特別会計予算について
- 議案第11号 令和4年度可児市二野財産区特別会計予算について
- 議案第12号 令和4年度可児市大森財産区特別会計予算について
- 議案第13号 令和4年度可児市水道事業会計予算について
- 議案第14号 令和4年度可児市下水道事業会計予算について
- 議案第15号 令和3年度可児市一般会計補正予算（第8号）について
- 議案第16号 令和3年度可児市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）につい
て
- 議案第17号 令和3年度可児市可児駅東土地地区画整理事業特別会計補正予算（第2
号）について
- 議案第18号 令和3年度可児市可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計
補正予算（第2号）について
- 議案第19号 令和3年度可児市水道事業会計補正予算（第1号）について

5. 出席委員（18名）

委員長	伊藤 壽	副委員長	勝野 正規
委員	林 則夫	委員	亀谷 光
委員	富田 牧子	委員	伊藤 健二
委員	中村 悟	委員	山根 一男

委員 野呂和久
委員 川合敏己
委員 板津博之
委員 大平伸二
委員 松尾和樹

委員 天羽良明
委員 澤野伸
委員 渡辺仁美
委員 中野喜一
委員 奥村新五

6. 欠席委員 (1名)

委員 酒井正司

7. その他出席した者

議長 山田喜弘

監査委員 川上文浩

8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 宮崎卓也

議会総務課長 下園芳明

議会事務局書記 土屋晃太郎

議会事務局書記 桜井孝治

○委員長（伊藤 壽君） それでは、予算決算委員会を始めたいと思います。

酒井委員につきましては、欠席届が提出されておりますので、よろしくお願いいたします。

また、伊藤健二委員におかれましては、遅刻の届けが出ておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、出席委員も定足数に達しておりますので、ただいまから予算決算委員会を再開いたします。

本日は、本委員会に付託されました議案第1号から議案第14号までの令和4年度各会計当初予算、議案第15号から議案第19号までの令和3年度各会計補正予算についての討論及び採決を行います。

発言される方は、挙手をして、委員長の許可を得てから発言をしてください。

初めに、討論を行います。

各議案について反対の討論及び賛成の討論の確認をいたします。

まず、反対討論のある方は挙手を願います。

議案番号、議案をお願いしたいと思います。

○委員（冨田牧子君） 議案第1号 令和4年度可児市一般会計予算についての反対討論と、それから議案第3号 令和4年度可児市後期高齢者医療特別会計予算について、また議案第4号 令和4年度可児市介護保険特別会計予算について反対をいたします。

○委員長（伊藤 壽君） ほかに反対討論される方はございませんか。

よろしいですね。

〔挙手する者なし〕

次に、賛成討論のある方は挙手を願います。

○委員（板津博之君） 議案第1号 令和4年度可児市一般会計予算について賛成討論を行います。

○委員（天羽良明君） 議案第4号 令和4年度可児市介護保険特別会計予算について賛成をします。

○委員（中野喜一君） 議案第3号 令和4年度可児市後期高齢者医療特別会計予算について賛成でお願いします。

○委員（山根一男君） 議案第1号 令和4年度可児市一般会計予算について賛成の討論をさせていただきます。

○委員長（伊藤 壽君） ほかによろしいですか。討論はございませんか。

〔挙手する者なし〕

それでは、討論があります議案について議案ごとに討論を行い、採決を行います。

発言される方は、挙手をして、委員長の許可を得てから発言をお願いします。自席で発言をお願いいたします。

初めに、議案第1号 令和4年度可児市一般会計予算について討論を行います。

○委員（富田牧子君） 反対点は、合特法によるグランドルールの問題、それからリニア中央新幹線の排出残土、行政のデジタル化、マイナンバーカード、この点で反対です。

○委員（板津博之君） それでは、私からは、議案第1号 令和4年度可児市一般会計予算について、賛成の立場から討論を行います。

令和4年度一般会計の予算の規模は、前年度対比4億7,000万円、1.6%増で298億5,000万円となり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から一定程度の回復が反映されているものの、社会保障費の増加など、厳しい財政状況が継続していることがうかがえます。

全体的には、将来への備え、そして市民に寄り添うきめ細やかさが見られ、バランスのよい予算であると思われまます。

市税は、前年度対比5億8,100万円、4.3%増で142億3,600万円となり、歳入全体に占める割合は47.7%と引き続き歳入の根幹となっております。増額の一部はコロナ禍の影響を受けた中小事業者等に対する軽減措置の終了によるものですが、コロナ禍からの一定程度の回復が見込まれているものであります。なお、コロナ禍からの回復は法人事業税交付金や地方消費税交付金の増額にも見られております。

市の借金に当たる市債は、前年度対比7億6,600万円、41.6%減の10億7,400万円となっておりますが、土田渡多目的広場整備事業や蘇南中学校大規模改造事業といった大きな起債事業が終了となっているとともに、臨時財政対策債が大きく減額となっております。

さて、市政経営計画の重点方針、地域・経済の元気づくり、そのうち最重点施策の企業誘致についてであります。

令和2年度から進めている可児御嵩インターチェンジ工業団地開発がいよいよ造成工事に着手するということですので、引き続き着実に進めていただき、積極的な企業誘致、将来の税収確保につなげていただきたいと思います。

もう一つの最重点施策、シティプロモーションにつきましても、市制40周年プロジェクトとも連携しながら、本市の魅力が多くの人に伝わり、関係人口の増大につながるよう取組を進めていただきたいと思います。

重点方針、高齢者の安気づくりでは、新たに高齢者虐待に係る一時保護体制の整備が進められます。介護者の介護負担の増大や心身の不調、さらには、コロナ禍の影響で介護サービスが中止となることや経済困窮に陥ることなどから虐待の危険が高まっているとのことです。医療機関等との連携、協力を確保し、早期に実施されることをお願いいたします。

重点方針、子育て世代の安心づくりでは、産後鬱の予防や新生児への虐待防止を図るため、産婦健康診査の助成に新たに取り組むこと、また保育園・幼稚園では、市内保育園2園が認定こども園に移行し、保護者の多様なニーズに応えるとともに、転園による子供の負担軽減を図るとのことです。さらに、今渡北小学校キッズクラブを増設し、第2キッズクラブを新たに整備するなど、マイナス10か月から切れ目のない子育て支援がより一層充実するものだと思います。

重点方針、まちの安全づくりでは、通学路の点検結果により、防護柵の設置やカラー舗装

の整備など、安全な通学路整備が進められます。また今渡と広見地区にゾーン30プラスが設定され、ひろみ保育園周辺では、さらにキッズゾーンに設定し、路面標示の整備や道路の狭窄、段差の設置が進められることで、市民生活の安全・安心が図られると思います。

防災倉庫の整備や油圧ショベル等の配備、さらには安全な市民生活に欠くことのできない道路施設などのインフラ整備なども、限られた財源の中でしっかり予算が確保されていることも認められます。

こうした重点方針への取組とは別に、コロナ対策に対しましてもしっかり予算対応をされております。さらに、市民の利便性や業務効率の向上を目指したデジタルトランスフォーメーションの推進、公共施設のLED化などによる脱炭素化の推進にも、国の経済成長戦略と歩調を合わせてしっかり取り組む予算となっております。

令和4年度は、市制40周年「#可児市40」プロジェクトで市民や事業者など多くのつながりから大きな輪が生まれ、共に成長していくとともに、10年後の50周年に向け、企業連携やデジタルトランスフォーメーション、脱炭素化など新たな取組を進めることでますます本市が発展し、一層の市民福祉の向上につながることを願いまして賛成討論といたします。以上です。

○委員（山根一男君） 令和4年度可児市一般会計につきまして、賛成の立場から討論いたします。

まず、一般会計の施政方針の中で、2050年カーボンニュートラル及び2030年度温室効果ガス46%排出削減の実現に向けた世界及び国内の動向を踏まえ、本市においても可児市地球温暖化対策実行計画の見直しを行います。市は、プラグインハイブリッドカーの導入や照明機器のLED化を進めるとともに、市民、事業者と連携して脱炭素化推進への取組を積極的に進めてまいりますとしており、実際に今渡地区センター照明LED化工事費として2,410万円、帷子地区センター照明LED化工事費として2,970万円、温室効果ガス排出量算定システム作成業務委託料240万円、道路照明灯LED化調査業務委託料1,600万円、広見小学校北校舎照明LED化工事1,000万円などが計上されておりまして、具体的に計上されていることを評価したいと思います。

ただ一方で、道路管理経費の中に街路樹管理業務委託料6,400万円、そのうち600万円が可児工業団地内の街路樹80本の伐採費用だということです。これは、脱炭素化の推進の方針とは逆行するものではないかと懸念しております。また、管理ということであるにもかかわらず、管理ということは、あることに対してコントロールするという行動であり、そのものを損失や危害から守る行為、何かをきちんと使える状態で維持する行為というふうに受け止めておりますが、管理業務の中にその対象物自体を除去し、消滅させるということが含まれていることには疑問を感じます。

この可児工業団地内のケヤキを主体とする街路樹については、歩道を狭め、根上がりの凸凹によって通行の危険性があるなどの支障が指摘されています。ただ、街路樹は市道に沿って植えられているものでありまして、可児工業団地の持ち物ではありません。市民全体の財

産だと認識しております。また、ケヤキは幹40センチの木で1年間に約173キログラムの二酸化炭素を吸着するというシミュレーションがあります。樹木の持つそういった環境面や、あるいは景観、あるいは精神的なリラックス効果など、そういったことも広く勘案し、最初から皆伐するということを前提にするのではなく、残せる木は残していくというような、十分に多くの人の意見を聞いた上で適切な処理をしていくことを要望としてつけ加えた上で、議案第1号 令和4年度可児市一般会計予算について、賛成討論といたします。以上です。

○委員長（伊藤 壽君） それでは討論を終了いたします。

これより、議案第1号 令和4年度可児市一般会計予算について採決いたします。

挙手により採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手多数であります。よって、議案第1号 令和4年度可児市一般会計予算については原案のとおり可とすべきものと決定いたしました。

次に、議案第3号 令和4年度可児市後期高齢者医療特別会計予算について討論を行います。

○委員（富田牧子君） 議案第3号 令和4年度可児市後期高齢者医療特別会計予算について反対討論を行います。

2008年度から始まった後期高齢者医療制度は、国民を年齢で区切って高齢者を別枠の医療保険へ強制的に囲い込んで、負担増と差別医療を押しつけるものです。これまでも2年ごとに保険料の値上げが繰り返されてきましたが、7回目となる今回の値上げでは、均等割が4万4,411円から1,612円値上げされ4万6,023円に、所得割は8.55%から0.35%増の8.90%に値上げとなります。

加えて、今年の10月から高齢者医療費は単身で年収200万円以上、夫婦世帯で年収320万円以上では2割負担となります。本市ではおよそ2,700人が2割負担となります。

一方で高齢者の年金は4月から0.4%減額となり、ますます高齢者の生活は困難になっていきます。高齢者が増えれば増えるほど保険料が値上げとなる後期高齢者医療制度には反対です。

○委員（中野喜一君） 私は、議案第3号 令和4年度可児市後期高齢者医療特別会計予算について賛成の立場で討論をいたします。

保健事業では、ぎふ・すこやか健診、ぎふ・さわやか口腔健診に取り組み、被保険者の健康維持、増進を図っています。後期高齢者医療特別会計では、岐阜県後期高齢者医療広域連合との連携や役割分担の下、健全な財政運営や事業運営が行われており、この予算に賛成いたします。以上です。

○委員長（伊藤 壽君） それでは討論を終了いたします。

これより、議案第3号 令和4年度可児市後期高齢者医療特別会計予算について採決いたします。

挙手により採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手多数であります。よって、議案第3号 令和4年度可児市後期高齢者医療特別会計予算については、原案のとおり可とすべきものと決定いたしました。

次に、議案第4号 令和4年度可児市介護保険特別会計予算について討論を行います。

○委員（富田牧子君） 議案第4号 令和4年度可児市介護保険特別会計予算について、反対討論を行います。

現在第8期となる介護保険は、当初、原則1割負担の利用料を、2014年には単身年金280万円以上の人は2割負担にしました。またそのとき、特別養護老人ホーム入所は要介護3以上としました。そして2017年には、現役並み所得である人、単身年金344万円以上の人の利用料は3割負担とし、高額介護費の上限も引き上げられました。

利用者負担が容赦なく引き上げられ、次々とサービスが削られ、保険料は値上げの一途をたどっています。まさに保険あって介護なしの状況が深刻化しています。

第8期において、国は利用料2割負担、3割負担の対象を拡大する、要介護1・2の生活援助等を専門職を減らした安上がりな基準緩和サービスやボランティア中心の総合事業に移行させる、ケアプランを有料化する、多床室で室料負担を求める施設を介護老人保健施設や介護医療院にも拡大することなどを検討中です。

これでは、ますます利用できない介護保険になってしまいます。保険あって介護なしの状況がさらに進行する介護保険制度に反対をいたします。

○委員（天羽良明君） 私は、議案第4号 令和4年度可児市介護保険特別会計予算についてにつきまして、賛成の討論を行います。

高齢者見守りシール事業など、多様な介護サービスを過不足なく提供するために必要な予算であると考え、賛成いたします。以上です。

○委員長（伊藤 壽君） それでは討論を終了いたします。

これより、議案第4号 令和4年度可児市介護保険特別会計予算について採決いたします。

挙手により採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手多数であります。よって、議案第4号 令和4年度可児市介護保険特別会計予算については原案のとおり可とすべきものと決定いたしました。

続いて、議案第2号及び議案第5号から議案第14号までの各会計当初予算、並びに議案第15号から議案第19号までの令和3年度各会計補正予算の16議案について一括採決したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

では、そのようにいたします。

挙手により採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、本16議案は原案のとおり可とすべきものと決定いたしました。

それではお諮りいたします。本日審査いたしました案件に関する委員長報告の作成につきましては、委員長、副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

御異議なしと認めますので、そのようにいたします。

ここで、暫時休憩します。

休憩 午前9時23分

再開 午前9時26分

○委員長（伊藤 壽君） それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

次に、報告事項、令和3年12月、令和4年1月・2月分定期監査・出納検査についてを議題といたします。

この件につきまして、監査委員の説明を求めます。

○監査委員（川上文浩君） よろしく申し上げます。

昨年12月から本年2月まで15部署を対象に監査を実施いたしております。提出された資料に基づいて、委員によるヒアリングと事務局職員の資料の抽出調査、現地などでの実査を行っています。

特に今回については、いろいろ備品のチェック、それから補助金のチェック等を行いまして指導をしております。

例月出納検査につきましては、会計課、上下水道料金課を対象に実施しております。詳細についてはまた御報告申し上げますが、会計につきましては、監査委員の中でも、事務局の中でもお願いしていました基金の運用割合が、82億、全体の52.7%まで行っておりますので、利金も大幅に大きくなっております。

また、市税の収納率ですけれども、1月末現在で現年全体の81.5%ということで、前年比プラス0.7%です。国保については61.6%でマイナスの0.1%ですけれども、順調に収納のほうは進んでいるというふうに見ております。

監査の報告の概要といたしましては、契約手続を行う場合については、適正な金額を十分検討の上で処理されたいと。随意契約とする場合においても、法令に則して説得力のある理由となっているのかを十分確認されたい。なお、従前と同じ契約を行う場合でも、契約金額や仕様が安易に同様の内容とならないよう検証されたい。また、市有施設に借地がある場合において、その賃借料が現在も適正であるかどうかを定期的にしっかりと見直すこと、今後とも長期的に必要な土地であれば、購入についても検討されたいということで要望事項を出さ

せていただいております。

そういった中で、今年度は年間実施計画を作成いたしまして、特に今まで監査に関わっておりませんでした小・中学校における学校監査、こちらのほうをちょっと力を入れてやっていきたいと思いますということになりました。学校監査については何をするかというと、建物・備品は全て市の財産になっておりまして、特に学校は、危険物、薬品ですとか彫刻刀であるとか、いろんなものがありまして、その辺の適正管理であるとか、遊具や体育施設のそういった行政監査をしっかりとやっていこうということで、令和4年度は進めさせていただきたいというふうに思いますので、ここに御報告させていただきます。以上です。

○委員長（伊藤 壽君） それでは、質疑はございませんか。

〔挙手する者なし〕

それでは、発言もないようですので、この件に関しては終了いたします。ありがとうございました。

以上で、本日の当委員会の会議の日程は全部終了いたしました。

ほかにございませんでしょうか、何か。

〔挙手する者なし〕

それでは、これにて予算決算委員会を閉会といたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会 午前9時29分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年3月17日

可児市予算決算委員会委員長